



〈松井田小ホームページ <http://www.annaka.ed.jp/shin-matsuida/>〉

人権強調月間の取組から学んだこと

人権強調月間において、様々な人権学習のプログラムを用意して全校で取り組んできましたが、児童はその時々感じたこと、考えたことを人権学習ノートに綴っています。現在、保護者の皆様にご覧いただいているところかと思いますが、すでに私のところに届いている学年もあります。すべてに目をおしてコメントを記入し始めたところですが、児童の感想はもちろんのこと、保護者の皆様のコメントがとても温かくて感動しています。こうした温かい家庭環境で育てていただいている子供たちは、本当に幸せですね。本校児童の心の質の高さがよく理解できます。

さて、昨年度に引き続き、本年度も児童や保護者の皆様の記述（感想やメッセージなど）の一部をまとめて、本校ホームページに掲載しました。たくさんの心温まる記述があり、たいへんな長文になっていますが、ご家族皆様で人権について考える際の話題にさせていただけたら幸いです。まだすべての学年のノートが集まっていませんので、これから随時追加していく予定ですが、早く皆様にこの感動をお届けしたくて、集まっているノートの記述から先にまとめました。ぜひご覧いただければと思います。

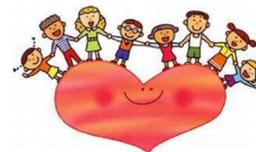
本校ホームページTOP画面右側Topics〔令和6年度〕「12/5 人権学習感想文集」をクリックしてお読みください。まずは、保護者の皆様からのメッセージの一部をお届けします。続きはWebで!!

保護者の皆様からのメッセージ

- ・人はいろいろなことがあって強くなるのだと思います。今生きることに感謝して、一日一日を大事にしていきたいですね。
- ・大好きなことが突然できなくなるのはすごくつらいと思います。人は何があるかわからないからこそ、一日一日を大事に過ごしてほしいです。
- ・手話の話をたくさんしてくれました。手話や点字で人とコミュニケーションがとれることを伝えたら、「覚えてみたいな」と言ったこと、嬉しかったです。
- ・人権学習をとおして、いろんな立場の人や状況があることを学ぶことが、相手の気持ちや状況を思いやれる心を育む力になると感じました。
- ・ハンディキャップのある人のことを知り、いろいろな人の生き方を知り、相手の立場に立って考えることはとても大切なことで素敵なことです。人は人を見て成長するものです。よい勉強になったね。
- ・この人権学習で、大事なことをいくつも知ったね。個性、あいさつ、思いやり、生命の大切さ、相手の気持ちになって考えられるやさしい大人になる学習だったね。
- ・家に帰ってきてから、校長先生からのお話を聞かせてくれました。少しでも命の大切さがわかってくれたかな・・・と思いました。親も自分もいつ死ぬかわからないだよ・・・と話しました。
- ・自分とは違った考えや立場の人がいることを認めて、みんなが仲良く幸せになれるようにしたいですね。そのための一歩として、あいさつができるようにすることは大切だと思います。
- ・人権スローガン「一人一人のやさしさで笑顔の花を咲かせよう」は、素敵なスローガンだなと思いました。誰にでもやさしく、まわりの人を笑顔にできるように、毎日を過ごしてほしいです。
- ・人権週間では、“他の人の立場になって考える”ということを食べるとてもよい時間だったと思います。家でも人権について親子で話ができました。人に寄り添うやさしい人になってほしいです。
- ・人権の話を聞いて、自分なりによく考えているなと感心しました。嫌な思いをしたり、たいへんなことがあったりしても、いつか誰かのためになるかもしれないと思います。中学でもがんばれ。

人権学習ノート

一人一人のやさしさで
笑顔の花を咲かせよう



年

月

日

校長人権講話スライドショー限定公開中

12/5（木）の校長人権講話の内容については、すでに学校通信 No.35 でお伝えしたところです。その時に体育館でスクリーンに投影したスライドに加え、新たに写真を追加し保護者の皆様向けに再編集したスライドショーを作成しました。

12/22（日）まで、本校ホームページの TOP 画面にある「週末 archives（アーカイブス）」で公開しています（本年度共通のパスワードです）。

お子様からのお話ではわかりにくかったところもあったと思いますが、こちらをご視聴いただきますと、当時の野球部の教え子の悲しい出来事など、私から本当に伝えたかったことがご理解いただけると思います。小学生には詳しいお話はできませんでしたが、ぜひ保護者の皆様にはかつて身近にあった事実と一緒に受け止めていただき、命の大切さ、一生懸命生きることの価値など、いつの日か子育ての場面で役立てていただければ、この教え子もきっと喜ぶと思います。

松井田中学校から転出が決まった時、もうこの話は子供たちの前ですることはないだろうと思っていました。しかし、昨年度の阪神タイガースの優勝のかけに、横田慎太郎という28歳の若さでこの世を去った選手がいたこと、「奇跡のバックホーム」の書籍を読んだこと、そして横田選手の現役時代の背番号24のユニフォームを仲間が掲げながら胴上げされるシーンがこの生徒の記憶と重なる部分があったことなどから、小学生には初めてとなりますが、もう一度この学校でも子供たちに話してみようと思いました。おそらく私の教員人生の中で、今回が子供たちに話をする最後になるだろうと思っています。今生きている我々が道に迷ったときどうすべきか、道標の一つになってくれると信じています。



第2回松小・細小PTA合同本部役員会議報告

11月27日（水）にオープン・スクール終了後の19:00から、両校役員に本校の会議室にお集まりいただき、話し合いを行いました。昨年度、本校では本部役員選出方法を変更いたしました。細野小学校PTAにもご了解いただき、同様の方法で過日会員の皆様へ意向アンケート調査を実施したところです。今回は、その調査結果を参加者全員で確認しました。結果は、令和7年度本部役員定数5名を上回る人数の方に「本部役員をすることができる」または「人数が足りない場合はやってもよい」とご回答をいただき、さらに、両校会員が含まれていたことから、本部役員の皆様はたいへん喜んでおりました。

さっそく、ご回答をいただいた会員の皆様に連絡を取らせていただき、様々なご事情を考慮したうえで、令和7年度本部役員候補者5名を選考しました。1月17日（金）に第3回合同本部役員会議を開催することになりましたので、そこで候補者5名の皆様にもお集まりいただき、会長以下役職の相談をしていただくこととなります。話し合いがまとまりましたら、令和7年度PTA総会において提案、承認を会員の皆様に求めることとなります。現時点では候補者の氏名は控えさせていただきますが、その後どうなったのか心配されている会員の皆様もいらっしやると思い、遅くなりましたがこの紙面をお借りして報告をさせていただきます。

会議では、このほかに来年度の学校統合に伴うPTA親子行事やPTA組織の在り方についても問題提議を行いました。特に、組織につきましては、学年委員の在り方について次回の合同本部役員会議で意見交換を行うことになりました。本部役員の皆様にはオープン・スクール後のお疲れのところ、会議にご出席いただき、ありがとうございました。

第2回学校保健委員会「睡眠博士になろう」

12月3日（火）に群馬ヤクルト販売株式会社の健康管理士を講師にお招きしました。睡眠の役割やよい睡眠とは何か、生活習慣のポイントなど、児童へのアンケート結果をもとにお話をしてくださいました。睡眠の役割は、心と体のメンテナンスだそうです。年齢にあった必要な睡眠時間を確保して、次の日に疲れを残さないことが大切です。規則正しい生活や食事を心がけ、寝る前にはスマホやタブレットなどを使用させないようにしましょう。よい睡眠をとるためには生活をどのように改善したらよいか、親子で一緒に考えてみましょう。MLB 大谷翔平選手も、睡眠が一番大切だと言っているそうです。

